

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、出来る限り家族様の意向に添うように対応しているが、職員の心理的負担がある。	重度化や終末期にて、職員間でのケアの統一を図り、自信を持って対応できる環境を作り、利用者、家族様の安心につなげる。	職員間の心配事や悩みなどを話せる環境を作り、家族、主治医、職員の話し合いをもうけながら、職員体制を強化したり、協力体制をお願いし、少しでも不安を減らし、自信を持って取り組めるようにする。	4 か月
2		排泄の自立に向けトイレでの排泄に取り組んでいるが、移動時に利用者様の状態に応じて対応が出来ているのか？	一人一人の持つ力を把握した移動の介助ができる。	その人にあった歩行の方法や立位、傾きについて職員間で話し合ったり移動方法の研修会に積極的に参加し負担のない移動方法を身につける。機会があれば、専門家のアドバイス等も聞いてみる。	4 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。